



地域ぐるみで子どもを支える ～地域の力を子どもたちへ

子どもたちの情操や人間性を育むため、大人や異年齢の友人との交流を通じて様々な体験を積み重ねられるよう、地域の教育力を活用した生涯学習の取組の重要性が指摘されています。

公民館などの各生涯学習施設では、専門的な知識や技術、知見をもった地域の方々の協力を得て、様々な体験活動やイベントが行われており、地域の力が子どもたちの学びや育ちを支えています。

うらやすまるごと 子ども広場

県民の日の6月15日に「うらやすまるごと子ども広場」と題して、市内の公民館などの各生涯学習施設では、さまざまなイベントが開催されました。

美浜公民館の「ヘルスパレーボール体験」では、浦安市スポーツ推進委員の皆さんに教えてもらい、約90cmの楕円形のボールを使用して、予測不能な動きをするパレーボールの面白さを体験しました。



ロビーに水族館大作戦!

日の出公民館の「ロビーに水族館大作戦!」では、地域在住の美術大学の学生の手ほどきで、水で接着する色とりどりのスポンジを使って、カニやタコやマンボウなどをつくり、カラフルな水族館がロビーにオープンしました。

図書館の各分館では図書館職員による「えほんのじかんスペシャル」が開催され、読み聞かせや手遊びが行われました。子どもたちはみんな絵本の世界に引き込まれていました。



ヘルスパレーボール体験



えほんのじかんスペシャル

郷土博物館・公民館共催事業

郷土博物館と各公民館が共催し、「わらぞうりづくり体験・わらぞうりを履いて市内めぐり」が行われました。子どもたちは、各公民館において郷土博物館職員や博物館ボランティアの方に教わりながら「わらぞうり」を完成させ、郷土博物館前の境川から旧町役場前まで「浦安細川流投網保存会」の方の操船で木造船に乗って移動したあと、堀江のフラワー通りを「わらぞうり」に履き替え市内をめぐりました。



乗船体験



わらぞうりづくり

すごく歩きづらいので、昔の人はわらぞうりを履いて生活していると思うと大変だなと思った

わらぞうり作りで、できたときの達成感がすごい

音楽の魅力を子どもたちへ

「ミュージックデリバリー」「うらやす管弦楽フェスティバル」

●ミュージックデリバリー

地域で活躍するピアニストとヴァイオリニストが明海小学校と富岡小学校の音楽の授業に出向き、楽器や作曲家についての話や素敵な演奏を披露し、子どもたちと楽しいひと時を過ごしました。



●うらやす管弦楽フェスティバル(8月21~23日)

バイオリンやチェロなどオーケストラに欠かせない弦楽器への興味と関心を高めることを目的とした「弦楽器体験教室」が8月21日から3日間、文化会館で開かれました。

体験教室は小学校3年生から高校生までの弦楽器初心者を対象に企画されました。89人(応募110人)が参加し、バイオリン、ピオラなど4つの楽器に分かれ、浦安出身・在住



成果発表会では見事な演奏を披露

の弦楽奏者から指導を受けました。

初日の練習は、音を出すことや基本動作などを学びました。チェロに挑戦した小学3年生の女子児童

(8)は「弦を押さえるのが難しい」と自分の背丈ほどの楽器と苦闘の様子。音が出て、音程が合うようになると「すごく楽しい」と表情を輝かせていました。



初めての弦楽器にドキドキワクワク

23日は文化会館大ホールで、大勢の市民を前に、教室で練習した課題曲「アメージンググレイス」などを演奏しました。

参加した子どもたちはなかなか思い通りにならない楽器に一喜一憂しながらも、最終日の成果発表会ではわずかな練習とは思えない見事な演奏を披露し、大きな拍手を受けていました。



家庭教育力の向上を目指して

家庭教育学級

各公民館では、幼稚園、認定こども園、小・中学校の保護者の方々が集まり、家庭教育力を互いに高め合い、学んでいます。

教育委員会では、家庭教育をどのように行うか、必要な心構えや留意点などを学習する機会の提供を目的として、昭和55年より家庭教育学級を開催しています。

今年度は幼稚園7学級、小学校7学級、中学校1学級、週末家庭教育学級2学級の計17学級が、それぞれの学区に近い公民館を会場に開催されています。各学級では、子どもの成長過程における様々な問題の対処方法や、子育てに必要な情報収集などを中心に、参加者の皆さん自身が学習テーマを設けて1年間の学習プログラムを作成し、講師を依頼して研修会を開催するなど、自主的に運営して学び合っています。



浦安小学校家庭教育学級



神明幼稚園家庭教育学級